

【血中循環細胞捕捉技術を用いた血中循環細胞の基礎研究】

我々は、これまで血液循環腫瘍細胞捕捉の開発を行って来ましたが、従来の高価な機器より優れた捕捉効率を得られる事が判明してきています。この技術を臨床に応用することにより、患者さんそれぞれに合った個別化治療を行うことを目指しています。具体的には、近年脚光を浴びている免疫治療、これまでの抗がん剤治療や放射線治療、手術療法などの効果予測や、それらの治療が身体の色々な細胞にどのような影響を与えるのかなどを、血液循環細胞の視点から検討しています。しかしながら、まだ十分な基礎データが収集できていません。

今回の検討では、キャンサーバイオバンクのために採血される血液の中で、これまでは使用されていなかった血球成分を使用します。バイオバンクには色々な臓器の病気の患者さんからの血液が集められますので、各病気特有の捕捉システムの構築を行います。各臓器の病気に対応した細胞捕捉が可能となれば、患者さんそれぞれに合った個別化治療に繋がるものと考えて居ます。

なお本研究は京都大学と東レ（株）寄附講座・薬学研究科ナノバイオ医薬創成科学および京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座との共同研究で行われ、京都大学医の倫理審査委員会の審査承認を受けています。

ご協力いただければ幸いです。